

ご あ い さ つ

～ 平成 28 年度の振り返りと平成 29 年度の展望について ～

本日ここに、平成 29 年度（第 20 期）の岩手県ダンススポーツ連盟定期総会を開催するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

平成 28 年度を振り返ってみますと、10 月 9 日に開催致しました 2016 希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ・ダンススポーツと 11 月 13 日に開催致しました第 24 回都道府県対抗全国ダンススポーツ大会 in 岩手を中心に活動した 1 年でありました。

国体デモンストレーションスポーツにおいては、午前の部を県民参加型交流イベント、午後の部は観戦型イベントとして公認競技会を実施し、当日の延べ出場者 800 人、観戦者を含め約 1300 人が感動を共有しました。

都道府県対抗戦においては、全国 25 都道府県から選手が参集し、団体戦には 30 チーム、432 人が出場、12 歳から 74 歳までの選手によって郷土の名誉をかけた戦いが行われました。当日の個人戦も含めた延べ参加人数 1000 人、観戦者を含め約 1300 人が感動を共有しました。

一方、例年実施している一般事業も開催し、会員が目標を持って技術習得できる技術認定会は G コースと HG コースを 6 月 18 日と 10 月 22 日に滝沢市で 2 回開催し 61 名が合計 143 区分に挑戦しました。

県連盟と各サークルの皆様との情報共有の場として毎年開催しておりますサークル代表者の集いは、2 月 19 日に花巻市生涯学園都市会館において開催致しました。

また、3 月 5 日に 2016 希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ開催記念イベントとして 2017 年前期ダンススポーツ東北ブロック選手権大会 in 岩手を滝沢総合公園体育館で開催しました。

さて、当連盟は平成 30 年 11 月で発足から 20 年を迎えます。会員の減少と高齢化が各都道府県連盟共通の課題となっている中、競技会中心の連盟活動だけでは財政的に立ちゆかず、非競技系事業や他ジャンルのダンスも含めた連盟運営に移行していかなければなりません。当連盟の会員の減少を抑制し、維持、拡大に転じていくためにも新しい価値観を共有するための組織改革、事業改革を推進していかなければなりません。

これらの諸事情も踏まえ、平成 28 年 9 月 22 日に臨時総会を開催して県連盟の会費を 700 円から 1000 円に改正し、平成 29 年 1 月 1 日から施行しております。

平成 29 年度は従来から実施してきている競技系会員の活動支援を行うとともに県内各地で普及指導やサークル運営の担い手となる「JDSF 公認指導員」を新たに養成します。また、パーティーダンスの出前講座やパーティーダンスの指導法勉強会の開催など非競技系会員の活動支援も活発化させます。

1 人でも多くの県民にダンスの魅力を感じていただけるように、会員の声に耳を傾けながら持続可能な連盟運営に努めて参りますので連盟活動、連盟運営に対しまして皆様のご協力とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成 29 年 5 月 7 日

岩手県ダンススポーツ連盟
会 長 中 道 俊 之